

樽前会 西日本支部 同窓生便り

「カナダからの便り」

機械工学科 4期生 中村 信一
(住友精密工業(株) カナダ・トロント在住)

樽前会の皆様、大変ご無沙汰しております。機械工学科 4期生の中村信一です。
私は、現在カナダのトロントに単身赴任中です。こちらに来て、早くも10ヶ月になります。

私は、昭和47年に卒業して、元住友金属工業(株)に入社し、主に鉄道用の車輪や車軸の製造等を担当しました。その間、3年間はシカゴに家族帯同で赴任した以外は、一貫して関西在住でした。

約13年前に住友精密工業(株)に転勤となり、航空機用の脚(ランディングギヤー)の生産技術を担当し、現在はその関連の北米拠点として立ち上げ中である、トロントの子会社に単身赴任しております。SPP Canada Aircraft, Inc.という、住友精密工業(株)の100%子会社で、現在35名の従業員がおり、そのうち日本からの出向者は、9名です。

この会社の設立目的は、最終的には世界をリードするランディングギヤーのメーカーを目指そうというものです。(夢は大きくー!! です。。。)。
そのためには、航空機製造のクラスターとも言うべき、このカナダの地に位置し、現地の優秀で経験豊富な技術者や技能者を雇用し、その経験を生かしてボンバルディアの様な航空機機体メーカーに直接ランディングギヤーを納入しようと考えています。
(現在は、殆ど現地のランディングギヤーメーカーを仲介して納入しています。)

昨年、現地の組立作業者を雇用した際には、9名の募集に対して何と約120名の応募があったのには、とても驚かされました。
厳選した甲斐があつて、とても優秀な技能者やエンジニアが雇用できたと考えています。

去る3月7日に、新会社のオープニングセレモニーがあり、地元のお役人や顧客、大学、サプライヤー等約140名程に参加頂き、盛況裡に終了でき、ほっと致しました。

現在、顧客の認定取得を進めており、徐々に既存品の量産出荷を開始しているところです。今後は、一日も早く新規受注を獲得すべく頑張っていきます。因みに、Honda-Jetに使われる脚もこの工場から出荷されます。

さて、トロントはご存じを通り、ほぼ北海道と同じ緯度に位置しています。なので、気候はとて良く似ており、冬は厳しく、夏は結構暑いといった、典型的な内陸の気候です。昨年のひとつ冬を過ごしましたが、大雪で3回程工場がクローズ止む無くされ、北海道時代の厳しい冬を思い出しました。

カナダは、当然の事ながら、ウィンタースポーツが盛んで、特にアイスホッケーは、日本のプロ野球に匹敵するくらいの人気です。トロントは、メイプルリーフスといういかにもカナダのチームらしい名前のプロチームをもっています。残念ながら、今シーズンはプレーオフでボストンに負けてしまいました。本場の試合を一度観に行きましたが、その迫力に圧倒されました。

そして、5月ともなると、好天の日が多くなり、今まで冬眠していたトロント市民が一斉に、アウトドアを楽しむために外に繰り出します。まるで、冬眠から覚めたクマの様に。。。)

こちらの夏の夜は、9時頃まで明るいので、本当に得した気分になります。定時に業務を終えてから、ゴルフをワンラウンド回れる程です。(残念ながら、私はまだやってませんが・・・)

これから、短いけれど快適な晩夏を初めて過ごすのが、とても楽しみです。まだ、ナイアガラに行ったくらいで、あまり観光を楽しむ余裕が無かったので、これからはできるだけ楽しみたいと思っています。

それでは皆様、日本はかなり暑いと聞いておりますので、お体ご自愛ください。また日本でお会い出来る日を楽しみにしております。

以上